

テーマ	産業廃棄物処理・再資源化活動
分類	・発生抑制 ・再使用 <u>・再生利用</u> ・その他
廃棄物の種類	廃プラスチック、金属くず等
業種	化学工業
事業者名	富士ゼロックス(株)竹松事業所
所在地	南足柄市竹松1600番地
取組みの概略	<p>「使用済の商品は、廃棄物ではなく、貴重な資源である」との考えを基に、徹底した資源として有効利用させる「クローズド・ループ・システム」を目指している。</p> <p>一つは、閉じた輪の中で部品を循環させてゆくため、部品の再利用を前提とし、環境負荷の少ない商品づくりをすることを目指す「インバース・マニフェストファクチャリング(逆製造)」、もう一つは部品として再使用できない部品を分別し、再資源化を行い、再び新しい資源として徹底的に活用することを目指す「ゼロ・エミッション、廃棄物ゼロ」の考え方である。当社では、最終処分場に投棄される量が、0.5%以下となって「ゼロ・エミッション」達成としている。</p>
従前の問題点	<p>廃棄物の分別が良く出来ていなく、再生利用ができていない。</p> <p>分別が出来ていないことから単純焼却となりリサイクル性に欠けていた。</p>
取組期間	平成7年から
費用	
効果	<p>&lt;例：マーキングユニット&gt;</p> <p>回収総量 4,790 6,006 トンへと約 25%回収量増</p> <p>マテリアルリサイクル率 48 51%へ増加</p> <p>サーマルリサイクル率 18 23%へ増加</p>
今後の課題	<p>廃棄物に可能な限り付加価値を与えて、有価物化すること</p> <p>クローズドループを中心に全体のCO<sub>2</sub>の負荷量などを考慮したり</p> <p>リサイクル性の向上を計ること。</p>
関連情報	
この取組みに関する問い合わせ先	富士ゼロックス(株)竹松事業所 総務グループ環境安全チーム 0465-70-1558